

NEWSPAPER OF ARCHAEOLOGICAL SOCIETY IN EHIME, JAPAN

ISSN 2186-3814

い せ き

791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田 1108-3

TEL 089-905-2925 そがめ塾気付 遺跡発行会

Eメール walked-metan@memoad.jp

郵便振替口座 01640-0-132658

ニュースレター第197号(3月号)

2025(令和7)年3月1日 遺跡発行会

編集・発行 十亀幸雄

◎研究ノート

The mirrors in Iyo

伊予の鏡 番外編

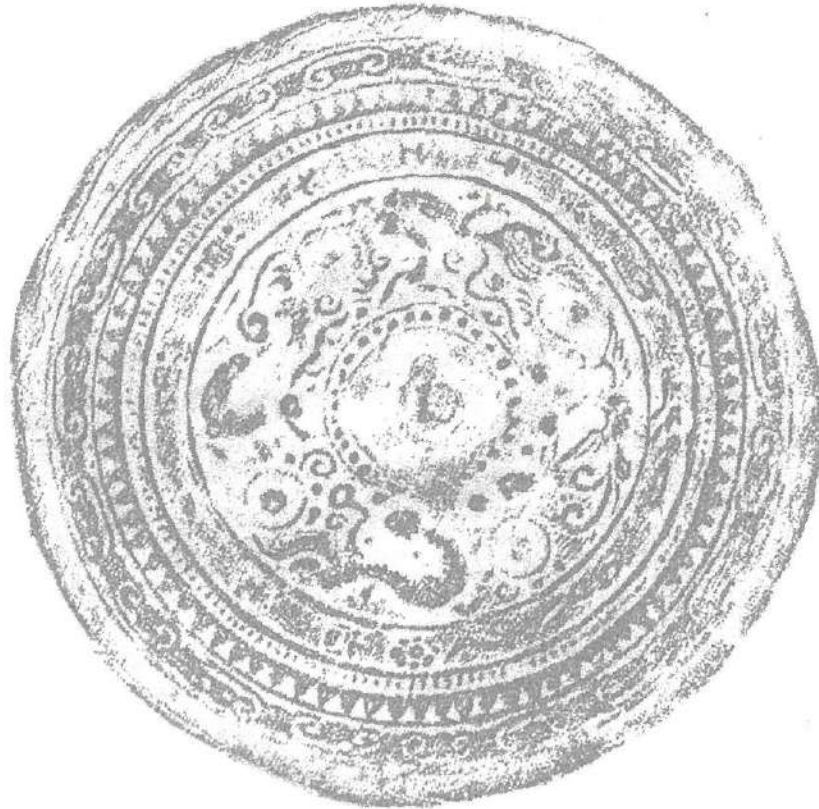
名本 二六雄

「古鏡」について本誌に連載してきたのは、県内発見の弥生・古墳時代の漢式鏡またはその仿製鏡であった。それらはまとまった形で「公」にされたものが無く、同時代の研究者の方々が困ることがあるとのこと。

私の手元にある同時代の資料を公にしたいと考え、それを一本にしようとして、この連載を行って来た。愛媛県での出土事例はそんなに多くは無かったが、いまから35年ほど前、「松山市考古館」が開設10周年を迎えると云うことで、「愛媛県出土の古鏡展」を開催しよう云うことになった。

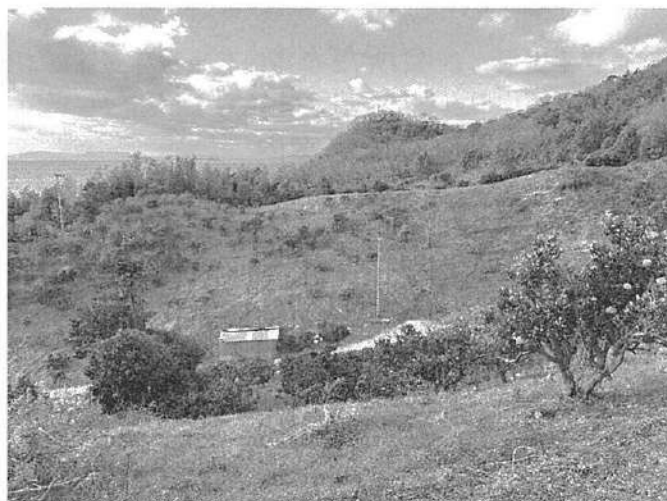
こういった種類のものがどの位あるのか、考古学関係の先生方にもわからないような有様であったが、集まった鏡は30数面で、数としてはまずまずであったと記憶する。

当時は、学会で、「三角物神獣鏡」が「鏡」と云うより学会の主なテーマのひとつであり、「同



第1図 瑞鳥瑞獸紋鏡

越智郡大島(吉海町)藤崎古墳 径11.9cm



小竹1号墳 (左端の高まり) 南より

2月例会報告

令和7年2月16日(日)、そがめ塾にて2月例会を開催しました。

参加者…名本二六雄・清水真一・河原 茂・十亀幸雄・山之内志郎 合計5名(順不同・敬称略)

1、例会(10:00～13:30)

(1) 事務局

① 『遺跡』57号について

3月末原稿締め切り、5月中旬発送を目指しています。ページ数は140～150ページになる予定です。

② 古墳測量について

3月23日(日)に松山市浅海 小竹1号墳の墳丘測量調査を行います。

9:00 ふわりに集合→乗合で浅海に移動。

万が一、雨天の場合は30日(日)に順延。朝の時点で少雨でも、天候が回復する見込みがある場合は、待機して午後から測量を行う場合もあります。

今回も風早歴史文化研究会の皆さんのお手伝いをいただける予定になっています。

(2) 下記のとおり各会員から発表がありました。

① 十亀「道後平野東部の出土銭貨」

② 清水「三机往還道・八幡浜街道の存在について」

③ 名本「湯山鈴鏡の資料追加」

2、次回例会予定日について

3月23日(日)に小竹1号墳測量調査を行う予定で準備を進めています。集合時間や場所につきましては、ニューズレター本号をご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

(報告 山之内志郎)

第 197 号 目 次	伊予の鏡 番外編	名本二六雄	1
	愛媛東中南博物館インフォ3月	会所	2
	二宮敬作の考古学的考察(1) —敬作の妻・西家についてと関連墓地—	清水 真一	3
	道後平野東部の出土銭貨	十亀幸雄	7
	会所だより	会所	15